

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 3 月 17 日 (2005.3.17)

【公開番号】特開 2003-101183 (P2003-101183A)

【公開日】平成 15 年 4 月 4 日 (2003.4.4)

【出願番号】特願 2001-286831 (P2001-286831)

【国際特許分類第 7 版】

H 0 5 K 1/11

H 0 5 K 1/03

H 0 5 K 1/05

H 0 5 K 1/18

H 0 5 K 3/38

H 0 5 K 3/42

H 0 5 K 3/44

【F I】

H 0 5 K 1/11 H

H 0 5 K 1/03 6 1 0 R

H 0 5 K 1/05 A

H 0 5 K 1/18 A

H 0 5 K 3/38 B

H 0 5 K 3/42 6 2 0 A

H 0 5 K 3/44 B

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 4 月 13 日 (2004.4.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 6】

樹脂組成物における各成分の含有量は、樹脂組成物全体を 1 0 0 重量部とした時、前記の絶縁性樹脂を 5 ~ 3 0 重量部、好ましくは 7 ~ 1 5 重量部、更に好ましくは 9 ~ 1 1 重量部とし、無機フィラーを 7 0 ~ 9 5 重量部、好ましくは 8 5 ~ 9 3 重量部、更に好ましくは 8 9 ~ 9 1 重量部とするのが適当である。無機フィラーの配合比率がこの範囲より多い場合には、樹脂組成物の流動性および接着性が低下し、金属箔と接着させることが困難になる。またこの範囲より小さい場合、基板の放熱性が不良になる。